

ちよつとそいびまで

# わがまち散歩



## 道すがら、心通わす人がいる 古里の温もりに包まれながら あちらこちら、わがまち散歩

熊本市側からの町の玄関口、広島地区。昔ながらの風習を大切に守り続ける人たちが、新しいスポットなど、いろいろと訪ね歩いてみました。



園庭で元気に遊んでいた「益城わかば保育園」の以上児組の園児たち

令和元年に開園した「益城わかば保育園」



七夕のお飾りを眺めて楽しむ園児たち

### 愛らしい子どもたちの声 のびのびと、すくすくと

あちらこちらでセミが鳴きすぎ、青空にはムクムクと入道雲。夏、真つ盛りです。さて、今回の「わがまち散歩」の目的地は、町の人口のおよそ2割ほどの人たちが暮らしている広島地区です。

朝の9時。変電所を曲がった辺りで、かわいらしい子どもたちの声が聞こえてきました。「益城わかば保育園」の庭で、はだしになってのびのびと遊んでいたのは、以上児組の園児たちです。

「近くの神社まで散歩したり、木の実を拾ったりと、自然と戯れる時間や外遊びを大切にしています」と話すのは、桑野紀子園長(42)です。同園は令和元年に開園しました。この広島地区には、私立保育園が他の地域と比べて数多く開園し、保育環境が充実した地域でもあります。

訪れた日は、ちょうど七夕。室内の遊び場には、天の川を模した七夕飾りがしつらえてありました。飾りを見つめる園児たちの瞳はキラキラと輝いて、その愛らしい姿に心が洗われるようです。

給食室では、七夕を祝うちらし寿司が準備されていました。小さな彦



優しい笑みを浮かべる桑野紀子園長

星さまと織姫さまたちのごちそうです。おいしく楽しく、お腹いっぱい味わってくださいね。

### 花屋さんの看板猫

園児たちに手を振って、さらに北へ歩いていると、すてきな花屋さんを見つけました。鉢物や切り花など季節の花々が並ぶ「フラワーガーデンあすなろ社」です。アレンジや花束が評判で、冠婚葬祭用の花も扱うお店です。

店先にはリードにつながれた2匹の猫が、のんびりと朝寝中。フワフワとしたグレーの毛色の雄猫の名前は、見た目そのままの「フワフワ」。茶と黒の

雌猫は「サビ」で、この店の看板猫たちです。

「家の中には他

